



あめると学ぼう！地球を守る魔法の
パネル



「こんにちは！ぼくの名前は『あめるん』。空から降ってきた、水滴の男の子だよ。」あめるんは、ぷにぷにと小太りな体が自慢の水滴です。お気に入りの緑色のレインコートを着て、ピカピカの黄色い長靴を履いています。今日はみんなと一緒に、エバタ株式会社が取り組んでいる「SDGs（エスディーズ）」についてお勉強しに来たよ。



「最近、バケツをひっくり返したような大雨が降ることが増えたよね。道路が川みたいになったり、お家が水に浸かったりしないか、ぼくは心配なんだ。」雨はみんなの生活に大切だけど、一度にたくさん降りすぎると、街が大変なことになっちゃう。そんなとき、街をこっそり守ってくれている「魔法の仕掛け」があるのを知っているかな？



「それは、みんなが歩いている道路や、お家の下にあるんだよ。名前は『雨水貯留浸透槽（うすいちよりゅうしんとうそう）！』」大雨が降ったとき、地面の下にある大きな箱が、雨水を一時的に貯めてくれるんだ。そうすることで、街に水があふれ出すのを防いでくれるんだよ。これがSDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」なんだ。



「この魔法の箱の中身を見てみて！ 黒いパーツがジグソーパズルみたいに組み合わさっているでしょう？これは『システムパネル』っていうんだ。」50センチくらいのおおきさのパネルをかちっとはめるだけで、どんなおおきさの箱でも作れちゃうんだよ。このパネルのおかげで、街のいたるところに雨水の逃げ道を作ることができるんだ。



「実は、この『システムパネル』にはもう一つ秘密があるんだ。それは、みんなが使い終わったプラスチックをリサイクルして作られていること！」ゴミになるはずだったプラスチックを新しく作り直すことで、地球を温める「CO₂（二酸化炭素）」を減らすことができるんだよ。これが、目標13「気候変動に具体的な対策を」への取り組みなんだね。



「地球温暖化が進むと、もっと激しい雨が降るようになっちゃう。だから、リサイクルで地球を冷やすお手伝いをするのはとっても大事なんだよ。」あめるんは、地球が熱を出さないように、みんなで工夫することが大好きなんだ。ゴミを減らして、未来の地球を涼しく保とう！



「雨水の通り道を作ることは、川に住む生き物たちを守ることにもつながるんだよ。カエルのポンタくんも、きっと喜んでいるはず！」雨が一気に川へ流れ込むと、川が荒れて生き物たちの家が壊れちゃう。でも、地下の箱で雨水を少しずつ流してあげれば、川はいつも穏やかでいられるんだ。



「プラスチックをゴミにせず、何度も形を変えて使い続けることを『循環型社会（じゅんかんがたしゃかい）』っていうんだよ。」山や森のゴミを減らして、川の生き物たちの環境を守る。これが、SDGsの目標15「陸の豊かさも守ろう」という約束なんだ。



「見て！ 雨が止んだ後の街だよ。道路に水溜まりもないし、川みたいになっていないでしょ？ 地下の『魔法の箱』が雨水をしっかり貯めて、少しずつ地面に浸み込ませてくれたんだ。みんなの街が水浸しになるのを、そっと守ってくれたんだね。これが、みんなが安全に住み続けられる街なんだ。あめるんは、この街がずっと大好きだよ。」



「地球の未来を守るために、君も一緒に考えてみない？ ゴミを減らしたり、環境のことを調べたり、できることから始めてみよう！」
これからも、あめると一緒に、住み心地の良い素敵な地球を作っていこうね。みんなの力が、大きな明日を作るんだ！